

TCM

2018

平成30年度
入学試験要項

東京音楽大学附属高等学校

目次

[一般入学試験]	器楽 トロンボーン …………… 13
募集人員 …………… 2	チューバ …………… 13
募集専攻 …………… 2	ユーフォニアム …………… 13
出願資格 …………… 2	打楽器 …………… 13
願書提出 …………… 3	作曲 …………… 14
入学試験 …………… 4	3. 音楽総合コース …………… 14～15
入学試験日の各科目試験時間 …… 4～5	4. 併願の試験科目について …… 15
受験者注意事項 …………… 5	第2学年編入学試験科目と課題曲
一般入学試験科目と課題曲	1. 募集専攻 …………… 16
(第1学年)	2. 各専攻共通試験科目 …………… 16
1. 各専攻共通試験科目 …………… 6	3. 各専攻別試験科目 …………… 16
2. 各専攻別試験科目 …………… 6	声乐 …………… 16～17
声乐 …………… 6	器楽 ピアノ …………… 17
器楽 ピアノ …………… 7	ピアノ演奏家コース …… 17
ピアノ演奏家コース …… 7	弦・管打楽器 …… 17
ピアノ・創作コース …… 7～8	作曲 …………… 17
ヴァイオリン …………… 8	4. 音楽総合コース …………… 18
ヴィオラ …………… 9	5. 併願の試験科目について …… 18
チェロ …………… 9	合格者発表 …………… 19
コントラバス …………… 9	入学手続 …………… 19
ハープ …………… 10	学費 …………… 19
クラシックギター …… 10	奨学金制度について …… 20
フルート …………… 10	学生寮(女子)について …… 20
オーボエ …………… 11	教育充実協力金について …… 20
クラリネット …… 11	[推薦入学試験] …………… 21～23
ファゴット …… 11	[海外帰国子女特別入学試験] …… 24
サクソフォーン …… 12	[外国人特別入学試験] …… 24
ホルン …………… 12	[巻末] 入学願書・専攻別曲目記入票
トランペット …… 12	調査書・推薦書・入寮申込書
	受験料振込用紙

一般入学試験

募集人員

第1学年————— 60名（男女）

第2学年————— 若干名（男女）

募集専攻

声乐	器楽	ハーブ	器楽	トランペット
器楽	ピアノ	クラシックギター		トロンボーン
	ピアノ演奏家コース	フルート		チューバ
	ピアノ・創作コース（第1学年のみ）	オーボエ		ユーフォニアム
	ヴァイオリン	クラリネット		打楽器
	ヴィオラ	ファゴット	作曲	
	チェロ	サクソフォーン	音楽総合コース	
	コントラバス	ホルン		

※器楽：ピアノ演奏家コース・エクセレンスは募集しない。

出願資格

第1学年

中学校卒業者及び平成30年3月卒業見込みの者

第2学年編入

高等学校第1学年修了者及び平成30年3月修了見込みの者

願 書 提 出

1. 受付期間

願書の受付は郵送のみとする。

受付期間 平成30年1月25日(木)～2月4日(日)

2月4日までの消印のあるものを有効とする。その際、一般入学試験・入学願書郵送用封筒を参照のこと。

2. 出願手続

出願先：東京音楽大学付属高等学校入試係

〒112-0014 東京都文京区関口3-12-1

下記の書類を高校入試係に郵送すること。受験票は入試係より速達で郵送するが、試験日の3日前になっても届かない場合は、氏名、専攻名、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして下記へ問い合わせること。

[問い合わせ先] 入試係：TEL 03 (3945) 6214 (直通)

受験料35,000円は郵便局で「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」により納金し、「振替払込請求書兼受領証」を願書の「振替払込請求書兼受領証貼付欄」に貼付すること。(「振替払込請求書兼受領証」のコピーでも可)

※本校所定の用紙は巻末を確認すること。

(1) 入学願書(一般入学試験)・受験票・振替払込請求書兼受領証(本校所定)

(2) 出身中学校において作成する調査書(本校所定)

※推薦入学試験(21～23ページ参照)を受験する者で再度一般入学試験を受験する場合は、推薦入学試験出願手続で提出済みにつき、一般入学試験では提出する必要はない。

(3) 写真(3か月以内に撮影した正面上半身脱帽、縦4cm、横3cmのもの、カラー又は白黒いずれでも可、ただし、背景は無地とし、願書と受験票にそれぞれ貼付すること)

(4) 第2学年編入志願者は、上記(1)(2)(3)に加えて、高等学校の在学証明書及び成績証明書を提出すること。

(5) 専攻別曲目記入票(一般入学試験)(本校所定)

専攻実技の曲目記入票及び副科ピアノが課題としてある場合は、副科ピアノの曲目記入票も提出すること。

作曲専攻の専攻実技は全て指定課題につき、専攻実技の曲目記入票は提出不要。一部の管楽器についても、同様に提出不要の専攻楽器がある。詳しくは専攻別曲目記入票欄(巻末)を参照すること。

第二志望(声楽)を併願する場合は、志望する専攻の記入票も提出すること。

(6) 伴奏譜(声楽実技受験者のみ)

(7) 創作楽譜(「ピアノ・創作コース」受験者のみ)

(8) 実用英語技能検定合格証明書(準2級以上の資格を有し、「英語」の免除を希望する者)

(9) 返信用封筒(362円分の切手貼付、住所・氏名を記入)

※個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された個人情報と入学試験成績については、入学試験業務及び入学後の適正な教育活動を遂行するためだけに利用し、それ以外の目的では一切使用しない。

また、入学手続書類の発送業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託する。

入 学 試 験

試験場：東京音楽大学（豊島区南池袋 3-4-5）

(1) 期 日 平成 30 年 2 月 10 日（土）・11 日（日・祝）

(2) 選考方法

- 筆記試験
- 実技試験
- 面接（10 日：保護者、11 日：受験者）

(3) 試験初日、受験者は保護者と共に登校し、午前 8 時 20 分までに受け付けを済ませること。

（受付場所：A 館 1F ロビー）

開門：午前 7 時 30 分 受付開始：午前 8 時

登校の際、「受験票」、「筆記用具」を持参すること。

昼食は学内食堂を利用できるが、混雑が予想されるので、なるべく持参すること。

入学試験日の各科目試験時間

※音楽総合コース受験者（第 2 志望を含む）は 5 ページを参照のこと。

2 月 10 日（土） 午前 8:30～午後 4:30

●受 付	午前 8:00～8:20
●ガイダンス	8:30～
●試 験	
楽 典	午前 9:00～ 9:50
聴 音	10:10～10:40
英 語	11:00～11:50
国語又は数学	午後 1:00～ 1:50
コールユーブンゲン・副科ピアノ	2:40～ 4:30
面接（保護者）	午前 9:00～12:00

2 月 11 日（日・祝） 午前 9:00～午後 4:00

- 専攻実技・面接（受験者）

※実技・面接の試験順序は、10 日（土）午前 8 時 30 分からのガイダンス時に発表する。

※第 2 学年編入の試験時間は上記に準ずる。

※音楽総合コースの試験時間割は下記の通り。

2月10日(土) 午前 8:30～午後 4:30	
●受付	午前 8:00～8:20
●ガイダンス	8:30～
●試験	
楽典	午前 9:00～9:50
聴音	10:10～10:40
英語	11:00～11:50
国語	午後 12:50～1:40
数学	1:50～2:40
コールユーブンゲン	3:00～4:30
面接(保護者)	午前 9:00～12:00
2月11日(日・祝) 午前 9:00～午後 4:00	
●実技・面接(受験者)	

受 験 者 注 意 事 項

- (1) 入学試験は全て**大学**で行うので注意すること。
- (2) 受験者は全科目を受験すること。
- (3) 試験日に登校しなかった者は入学志願を取り下げたものとして扱う。
(試験当日の緊急連絡先 (03) 3982-3221 大学教務二課)
- (4) 学科試験受験の際の持ち物は、筆記用具(鉛筆又はシャープペン、消しゴム)のみとする。ただし、鍵盤模様のないものに限る。
- (5) 出願の際納入した受験料は返還しない。
- (6) 出願後は、専攻、受験曲目、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないよう、正確に記入すること。
- (7) 住所及び連絡先が変更になる場合は、試験日まで連絡すること。
- (8) 演奏はすべて暗譜で行うこと。(ただし、管打楽器のうち暗譜を必要としないものを除く)
- (9) 万一、当日の演奏が予め提出された専攻別曲目記入票に記入されている作曲者名、曲名、調名、平均律巻名、楽章等の内容と異なる場合、失格となるので注意すること。
- (10) 試験当日、災害等により入学試験に変更があった場合は、本校のホームページ及びラジオのニッポン放送にて朝6時から逐次公開する。
- (11) 車での来校は避けること。(駐車場の利用はできない)

一般入学試験科目と課題曲

第 1 学年

1 各専攻共通試験科目（音楽総合コースに関しては P.14 ～ P.15 を参照のこと）

- (1) 一般学科：「英語」、「国語・数学より 1 科目選択」計 2 科目
ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。「国語」の出題範囲は現代文のみとする。
- (2) コールユーブンゲン：第 1 巻の原書番号 No.24 ～ No.41 の中から試験の際 1 曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴音：単旋律（8 小節程度）、各専攻共通 2 題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) 副科ピアノ：ピアノ、ピアノ・創作コース、ピアノ演奏家コース及び弦、管打楽器の志望者は受験の必要なし。
●声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の 1 曲を演奏すること。
（二つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
●作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の 1 曲及び自由曲 1 曲（自作品は不可）を合わせて 2 曲を演奏すること。
（2 曲で **5 分以上 10 分以内**）※暗譜で演奏すること。
- (6) 面接：受験者及び保護者

2 各専攻別試験科目（音楽総合コースを除く）

■声楽専攻

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「コンコーネ 50 番」の第 5 番～第 20 番までの中から任意の 2 曲を選ぶこと。その中から当日 1 曲を指定する。
※母音唱法に限る。伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。
※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。
- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。オペラのアリアも可。ただし、アリアは原調で演奏のこと。
※原語に限る。
※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めくりしやすいように製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること（コピーした楽譜は鮮明なもの。又、移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）。
※伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※推薦入学試験は行わない。
※演奏の途中で打ち切ることがある。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻、又は第Ⅱ巻より任意の1曲（フーガのみ）。
- (2) 次の①～⑥の練習曲集より、任意の2曲を選択すること（異なる作曲家も可）。
 - ① チェルニー 50 番
 - ② クラマー・ビュロー 60 番
 - ③ クレメンティ
 - ④ モシュコフスキー Op.72
 - ⑤ 「ショパン練習曲集（Op.10、Op.25）」（ただし Op.10-6、Op.25-7 を除く）

- (3) 自由曲（6分程度。ただし **4分以上**であること）

※一部省略する場合は、その箇所を専攻別曲目記入票に記入すること。

※推薦入学試験は行わない。

ピアノ演奏家コース

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A 課題

- (1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻、又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。
- (2) 「ショパン練習曲集」（Op.10、Op.25）より、任意の2曲。
（ただし、Op.10-6、Op.25-7を除く）
- (3) 自由曲（**10分以上**であること。2曲の組み合わせでもよい。演奏時間を、専攻別曲目記入票に記入すること）
※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（**20分以上**であること。1曲、又は数曲の組み合わせでもよい。演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ・創作コース

1. ピアノ課題

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻、又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュード、又はフーガ）
- (2) 次の①～⑥の練習曲集より、任意の1曲を選択すること。
 - ① チェルニー 50 番
 - ② クラマー・ビュロー 60 番
 - ③ クレメンティ
 - ④ モシュコフスキー Op.72
 - ⑤ 「ショパン練習曲集（Op.10、Op.25）」（ただし Op.10-6、Op.25-7 を除く）

※次ページに続く

(3) 自由曲（6分程度。ただし**4分以上**であること）

※一部省略する場合は、その箇所を専攻別曲目記入票に記入すること。

2. 創作

自作曲の楽譜を1曲提出すること。

編成及び曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲（1～2分程度）、電子楽器を含むアンサンブル作品等

ヴァイオリン

- (1) 音階：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の長調、又は短調を選び、第5番、第6番、第7番、第8番を演奏する。ただし第5番は冒頭より12小節目までを演奏する。スラーとリズムはC-durに準ずる。第6番、第7番、第8番は各々冒頭より4小節目までを演奏する。スラーは16分音符4個（一拍）以上とする。運指は指定しない。速度は下記の通りとする。第7番と第8番は、第6番に準ずる。

第5番

第6番

- (2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の1曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

- (3) 任意の協奏曲1曲の第1楽章を演奏する（カデンツァを含む）。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

※なお、ヴァイオリン演奏に関し適性ありと認め得る場合、ヴァイオリンに合格となる場合がある。ヴァイオリンへの転専攻入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴァイオリンへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲むこと。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

ヴィオラ

- (1) 音階：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の長調、又は短調を選び、第5番、第6番を演奏する。ただし第5番は冒頭から12小節のみ、第6番においては4小節のみとする。スラー、運指及び弓使いは指定しない。
- (2) 自由曲を1曲。
 - ※暗譜で演奏すること。
 - ※伴奏はなし。
 - ※ヴァイオリンで受験も可。課題曲はヴァイオリンに同じとする。この場合、受験票の第1志望の欄にヴィオラと記入すること。

チェロ

- (1) 任意の長調、短調、両方の3オクターヴの音階（4音を一弓で演奏すること）
- (2) 任意のエチュードを1曲。
- (3) 次の①・②よりひとつを任意に選択する。
 - ① 任意のチェロ協奏曲より第1楽章、又は最終楽章
 - ② 任意の古典ソナタより第1楽章及び第2楽章
(ただしバッハの無伴奏組曲を除く)

※推薦入学試験の場合、(2)のエチュードは、次の6曲の中から1曲を選択する。

ドッツアウアー：113 チェロ練習曲集より

(DOTZAUER：113 VIOLONCELLO ETÜDEN)

第65番

第73番

シュレーダー：170 チェロ練習曲集より

(ALWIN SCHROEDER：170 FOUNDATION STUDIES For Violoncello)

第135番 シュレーダー Op. 45-2

第138b番 メルク Op. 11-4

第167番 ピアッティ Op. 25-3

第168番 ピアッティ Op. 25-8

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

コントラバス

- (1) 任意の調の2オクターヴの音階。
- (2) 自由曲を1曲（エチュードも可）。
 - ※暗譜で演奏すること。
 - ※伴奏はなし。

ハーブ

(1) ボクサ：作品 318 の「40 番練習曲」から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

クラシックギター

(1) カルカッシ、又はソルの練習曲の中から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

フルート

(1) 次の音型によって音階及び分散和音を演奏すること。

調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。(♩ ≒ 80 ~ 90)

長調

短調

(2) E. Koehler : Twelve Medium Difficult Exercises op. 33 Book II

(E. ケーラー著 12 の中級の練習曲 作品 33 第 2 巻) より、No.5

演奏箇所は当日指定する。

(3) Carl Stamitz : Concerto G-dur より、第 1 楽章

カデンツァは含まない。

演奏箇所は当日指定する。

※音階課題以外は暗譜の必要はない。

※伴奏はなし。

オーボエ

- (1) 音階：次のA、Bいずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

A 例



B 例



- (2) 4分程度の任意の独奏曲又は練習曲（暗譜の必要はない）。

演奏箇所は当日指定する。

※伴奏はなし。

クラリネット

- (1) 音階：Rolf Eichler 著 Scales of Clarinet より、第1番。調性は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

- (2) ローズ：26のエチュード 第1番から第4番までの中から当日指定する（暗譜の必要はない）。

※伴奏はなし。

ファゴット

- (1) 音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) Julius Weissenborn : Bassoon Studies for Beginners Op.8 vol.1 より I. The most essential kinds of expression AよりFまでのの中から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

※伴奏はなし。

サクソフォーン

- (1) 音階：長調、短調（和声的短音階） $\sharp \cdot \flat$ 4つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。（暗譜で演奏すること。繰り返しはなし）

音階譜例



- (2) Guy Lacour : 50 Etudes Faciles & Progressives pour Saxophone (Billaudot 版) 第1巻より、任意の2曲を演奏すること（暗譜の必要はない）。

※伴奏はなし。

※ (1) (2) 共、Alto Saxophone で演奏すること。

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）

（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



ホルン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

- (2) 任意の独奏曲、又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

トランペット

- (1) Dr.Charles Colin : TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より、第3番。(ETUDE No.1) 演奏は暗譜で行うこと。

- (2) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

- (3) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12 幻想曲とアリアより、第5番

The Beautiful Snow の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

トロンボーン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) 以下7ポジションまで演奏すること。暗譜で演奏すること。



- (3) C. Kopprasch : 60 SELECTED STUDIES FOR TROMBONE より、No.3、4、5、8、9 より当日指定する。
(繰り返しなし) (暗譜の必要はない)

テューバ

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) 任意の独奏曲又は練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※伴奏はなし。

ユーフォニアム

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12 幻想曲とアリアより、第 4 番
Tyrolean Song の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）
※伴奏はなし。

打楽器

小太鼓又はマリンバによって受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

(A) 小太鼓

- (1) 二つ打
- (2) 任意の独奏曲又は練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）

(B) マリンバ

- (1) 2 オクターヴの長音階と短音階と分散和音（調性は当日指定）
- (2) 任意の独奏曲又は練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

■作曲専攻

- (1) 和声：転調及び非和声音を含まないバス課題
 - (2) 作曲：与えられた動機による楽曲の創作
- ※ (1) (2) 合わせて **3時間**

3 音楽総合コース（推薦入学試験は行わない）

- (1) 一般学科：「英語」、「国語」、「数学」計3科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。「国語」の出題範囲は現代文のみとする。
- (2) ソルフェージュ：「コールユーブンゲン」、「聴音」より1科目選択
 - コールユーブンゲン：第1巻の原書番号 No.24～No.41の中から試験の際1曲を指定する。移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
 - 聴音：単旋律（8小節程度）2題
- (3) 楽典：楽典一般
- (4) 実技：ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、声楽、作曲の中から1つ選択する。課題曲はすべて自由曲とする。
作曲で受験する場合は、与えられた動機による楽曲の創作（**3時間以内**）。
※課題の詳細は下記を参照のこと。
- (5) 面接：受験者及び保護者

音楽総合コース 受験課題曲（自由曲）について

- ◎ 声楽で受験する場合：
下記のA、Bの両方から選曲すること。
 - A. 「コンコーネ 50番」の第1番～第10番までの中から任意の1曲。
 - B. 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。原語のみとする。演奏時間は合計 **6分以内**。暗譜のこと。伴奏譜は願書とともに提出すること。
※伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
- ◎ ピアノで受験する場合：
※暗譜で演奏すること。
自由曲（5分程度・複数曲も可）
- ◎ 弦楽器で受験する場合：
※暗譜のこと。伴奏はなし。
 - 1. ヴァイオリンの場合は自由曲（コンツェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可とする。
 - 2. その他の弦楽器の場合は、特に指定なし（自由曲）。

◎ 管打楽器で受験する場合：

いずれの楽器の場合も、エチュードを含む自由曲とする。演奏時間は **5分以内**。

※暗譜の必要はない。伴奏はなし。

◎ 作曲で受験する場合：

指定された「与えられた動機による楽曲の創作」(**3時間以内**)とする。

4 併願の試験科目について

第一志望のほか特に希望する者は第二志望として、「声楽」、又は「音楽総合コース」を併願することができる。

ただし、第一志望が「ピアノ演奏家コース」及び「音楽総合コース」の志願者は併願することができない。また、第二志望のみの受験は認めない。

併願を志望する者は、願書提出の際「志望専攻名」の第二志望欄に「声楽」、又は「音楽総合コース」と明記すること。

なお、ピアノ及びピアノ・創作コース以外を第一志望とする者が声楽を併願する場合は、専攻別試験科目のほかに、各専攻共通試験科目の副科ピアノについても受験しなければならない。

又、音楽総合コースを併願する場合は、第一志望の専攻別試験科目のほかに、一般学科は「英語」、「国語」、「数学」の3科目を受験しなければならない。ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

第2学年編入学試験科目と課題曲

1 第2学年編入学試験の募集専攻について

器楽専攻：ピアノ演奏家コース・エクセレンス、ピアノ・創作コースは募集しない。

2 各専攻共通試験科目（音楽総合コースに関してはP.18を参照のこと）

- (1) 一般学科：「英語」、「国語・数学より1科目選択」計2科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。「国語」の出題範囲は現代文のみとする。
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号No.24～No.51の中から試験の際1曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴音：単旋律（8小節程度）、各専攻共通2題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) 副科ピアノ：ピアノ、ピアノ演奏家コース及び弦、管打楽器の志望者は受験の必要なし。
●声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の1曲を演奏すること。
（二つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
●作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の1曲及び自由曲1曲（自作品は不可）を合わせて2曲を演奏すること。
（2曲で**5分以上10分以内**）
※暗譜で演奏すること。
- (6) 面接：受験者及び保護者

3 各専攻別試験科目（音楽総合コースを除く）

■声楽専攻

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「コンコーネ50番」の第21番～第30番までの中から任意の2曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。
※母音唱法に限る。伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。
※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。
- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。オペラのアリアも可。ただし、アリアは原調で演奏のこと。
※原語に限る。
※演奏時間は(1)と(2)の合計（曲間含む）で**7分以内**とする。
※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めくりしやすいように

製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること（コピーした楽譜は鮮明なもの。又、移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）。

※伴奏は試験委員が受け持つ。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻、又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

(2) 次の①～⑥の練習曲集より、任意の2曲を選択すること（異なる作曲家も可）。

① チェルニー 50 番

② クラマー・ビュロー 60 番

③ クレメンティ

④ モシュコフスキー Op.72

⑤ 「ショパン練習曲集（Op.10、Op.25）」（ただし Op.10-6、Op.25-7 を除く）。

(3) 自由曲（6分程度。ただし **4分以上** であること）

※一部省略する場合は、その箇所を専攻別曲目記入票に記入すること。

ピアノ演奏家コース

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A 課題

(1) 「バッハ平均律」第Ⅰ巻、又は第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

(2) 「ショパン練習曲集」（Op.10、Op.25）より、任意の2曲。

（ただし、Op.10-6、Op.25-7 を除く）

(3) 自由曲（**10分以上** であること。2曲の組み合わせでもよい。演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（**20分以上** であること。1曲、又は数曲の組み合わせでもよい。演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ 器楽専攻：弦楽器、管打楽器

■ 作曲専攻

} 第1学年受験の場合と同じ。

4 音楽総合コース

- (1) 一般学科：「英語」、「国語」、「数学」計3科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。「国語」の出題範囲は現代文のみとする。
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号 No.24～No.51の中から試験の際1曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴音：単旋律（8小節程度）、2題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) 実技：ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、声楽、作曲の中から1つ選択すること。課題曲はすべて自由曲とする。
作曲で受験する場合は、与えられた動機による楽曲の創作（**3時間以内**）。
※課題の詳細は P.14～P.15 を参照のこと。
- (6) 面接：受験者及び保護者

5 併願の試験科目について

第1学年受験の場合と同じ。

合格者発表

平成 30 年 2 月 12 日（月・振休） 午後 2 時 東京音楽大学で受験者に書面で通知する。

※電話による問い合わせには応じない。

※合格者は事務局で受験票を提出し、合格証及び入学手続の書類を午後 2 時 30 分までに受け取ること。

入学手続

合格者は、2 月 20 日（火）（消印有効）までに下記書類を郵送すること。学費については、2 月 20 日（火）までに必ず銀行振込で納金すること。

- (1) 誓約書（本校所定）————— 1 通
- (2) 住民票、又は住民票記載事項証明書————— 1 通
- (3) その他必要書類

学 費

・入 学 金	—————	120,000 円
・授 業 料	—————	(年額) 530,000 円
		(前後期分納可)
・維 持 費	—————	(年額) 80,000 円
・施設拡充費	—————	(年額) 100,000 円
・冷暖房費	—————	(年額) 10,000 円
・ 函 書 費	—————	(年額) 8,000 円
・演奏会費	—————	(年額) 8,000 円
・健康管理費	—————	(年額) 5,000 円
合 計	—————	861,000 円
(入学時分納の場合)	—————	596,000 円
※上記以外の諸費用		
・校外学習費（入学時）	—————	58,000 円
・後援会費（年額）	—————	12,000 円
・卒業記念費（卒業時）	—————	8,000 円

※ほかに本校指定の制服、給食、教材、教科書等の各費用を必要とする。

※ 3 月 9 日（金）午後 3：00 までに入学辞退を申し出てその手続をした場合は、入学金を除く納付金を返還する。それ以後の辞退については一切返還しない。

奨学金制度について

東京音楽大学附属高等学校では、日本学生支援機構奨学金、その他地方公共団体等による公的奨学金制度のほか、特に、次の種類の奨学金が設けられている。

1. 給費入学奨学金（新入生対象）
2. 特待生奨学金（2・3年生対象）
3. 短期留学奨学金

■給費入学奨学金

(1) 種別

1. 特別：実技が極めて優秀であり、学科、人物ともに優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。
2. 甲種：実技、学科ともに優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。
3. 乙種：実技が甲種に準じて優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。

(2) 選考 全合格者を対象に入学試験成績により選考を行う。

学生寮（女子）について

1. 申込方法

入寮希望者は、巻末の「平成30年度東京音楽大学目白台学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、出願の際に入学願書とともに郵送すること。

※入寮申し込みの際には、必ず入寮案内（大学学生支援課で配布）で詳細を確認すること。

2. 選考

入寮可能人数内で成績及び通学距離等を考慮のうえ決定する。（遠隔地出身者が優先される）

3. 発表・手続

- (1) 入寮許可者の発表は、各入学試験合格者発表時に行う。
- (2) 入寮を辞退する場合は、3月3日（土）までに申し出ること。
- (3) 詳細は発表と同時に発送する入寮手続書類を参照すること。
- (4) 不明な点は、大学学生支援課（03-3982-4327）まで問い合わせること。

教育充実協力金について

本校では、教育施設及び設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様にご寄付をお願いしております。ご寄付は任意ではありますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、協力金に関するご依頼は入学後にお送りいたします。

推薦入学試験

募集人員

第1学年 _____ 10名(男女)

募集専攻

器楽	ピアノ演奏家コース	器楽	フルート	器楽	トロンボーン
	ピアノ演奏家コース・エクセレンス		オーボエ		チューバ
	ヴァイオリン		クラリネット		ユーフォニアム
	ヴィオラ		ファゴット		打楽器
	チェロ		サクソフォーン	作曲	
	コントラバス		ホルン		
	ハープ		トランペット		
	クラシックギター				

※声楽、器楽：「ピアノ」「ピアノ・創作コース」「音楽総合コース」は募集しない。

出願資格

次の1～4のすべてに該当し、かつ音楽的資質に特に優れている者

1. 平成30年3月に中学校卒業見込みの者に限る
2. 本校を第一志望とし、出身中学校長の推薦がある者
3. 中学校3年間の9教科の評定(5段階評価)平均が3.2以上の者
(小数点第2位を四捨五入とする)
4. 実技指導者の推薦がある者

願書提出

1. 受付期間

平成30年1月15日(月)から1月17日(水)まで

(受付時間：午前9：00～午後3：00)・(受付場所：東京音楽大学付属高等学校)

願書を郵送するときは、1月17日(水)までに必着のこと。

その際、推薦入学試験・入学願書郵送用封筒を参照のこと。

2. 出願手続

出願先：東京音楽大学付属高等学校入試係

〒112-0014 東京都文京区関口3-12-1

次ページの書類を高校入試係に提出すること。提出者には受験票を交付する。(郵送による出願の場合は、受領した旨を入試係より受験生に電話で確認し、推薦入学試験当日(1月22日)に受付にて受験票を交付する。)

[問い合わせ先] 入試係：TEL (03) 3945-6214 (直通)

なお、来校して出願手続をする場合、推薦入学試験・入学願書在中の郵送用封筒の提出は不要。
受験料 20,000 円は郵便局で「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」により納金し、「振替払込請求書兼受領証」を願書の「振替払込請求書兼受領証貼付欄」に貼付すること。（「振替払込請求書兼受領証」のコピーでも可）

※本校所定の用紙は巻末を確認すること。

(1) 入学願書（推薦入学試験）・受験票・振替払込請求書兼受領証（本校所定）

(2) 出身中学校長による推薦書（本校所定）

(3) 出身中学校において作成する調査書（本校所定）

(4) 実技指導者による推薦書（本校所定）

(5) 写真（3 か月以内に撮影した正面上半身脱帽、縦 4 cm、横 3 cmのもの。カラー、又は白黒いずれでも可、願書と受験票にそれぞれ貼付すること）

本校所定の用紙は巻末を確認すること。

(6) 専攻別曲目記入票（推薦入学試験）（本校所定）

作曲専攻の専攻実技は全て指定課題につき提出不要。一部の管楽器についても、同様に提出不要の専攻楽器がある。詳しくは専攻別曲目記入票欄（巻末）を参照すること。

※個人情報の取扱いについて：一般入学試験要項（3 ページ参照）に同じ

入 学 試 験

試験場：東京音楽大学（豊島区南池袋 3 - 4 - 5）

(1) 期 日 平成 30 年 1 月 22 日（月）

(2) 選考方法

●専攻実技試験（副科ピアノは課さない）

●面接（受験者及び保護者）

(3) 課題曲 ピアノ演奏家コース・エクセレンス以外は一般入学試験要項に同じ。

（6 ページ～ 14 ページを参照のこと）ただし、第一志望のみで、併願は認めない。

ピアノ演奏家コース・エクセレンスについては以下の通り。

ピアノ演奏家コース・エクセレンス

※受験結果によりピアノ演奏家コースに合格となる場合がある。

※暗譜で演奏すること

次の (1) ～ (5) を合わせて **60 分以上** にプログラミングすること。

(1) 「バッハ平均律」第 I 巻、又は第 II 巻より任意の 1 曲。

（プレリュードとフーガ）

(2) 「ショパン練習曲集」(Op.10、Op.25) より、3 曲を選択すること。

ただし、Op.10-2、Op.25-6、Op.25-11 より 1 曲以上を必ず含むこと。

(3) 次の練習曲集の中から、任意の 1 曲を選択すること。

① リスト「超絶技巧練習曲」、又は「パガニーニ大練習曲」

② ドビュッシー

③ スクリャービン (Op.8、Op.42、Op.65)

④ ラフマニノフ

(4) ベートーヴェンのソナタより任意の 1 曲（全楽章）

(5) 自由曲

ロマン派及び近現代の作品から自由選択

各専攻の集合時間と試験時間

- (1) 各受験生の集合時間と試験時間は、願書受付時に各自に連絡する。
- (2) 試験当日、受験者は保護者と共に登校し、専攻ごとに定められた集合時刻までに受付を済ませること（受付場所：J館 1F ロビー）。
登校の際、受験票（郵送による出願の場合は当日交付）、筆記用具を持参すること。
昼食は学内食堂を利用できるが、混雑が予想されるので、なるべく持参すること。
- (3) 実技・面接の試験順序は、ガイダンス時に発表する。

受験者注意事項

一般入学試験要項（5 ページ参照）に同じ。

合格者発表

平成 30 年 1 月 23 日（火） 午後 2 時 東京音楽大学 J 館 2F ロビー

※電話による問い合わせには応じない。

※合格者は事務局で受験票を提出し、合格証及び入学手続の書類を午後 2 時 30 分までに受け取ること。

入学手続

合格者は、1 月 30 日（火）（消印有効）までに下記書類を郵送すること。学費（19 ページ参照）については、1 月 30 日（火）までに必ず銀行振込で納金すること。

- (1) 誓約書（本校所定）—————1 通
- (2) 住民票、又は住民票記載事項証明書—————1 通
- (3) その他必要書類

奨学金制度について

（20 ページ参照）

学生寮（女子）について

（20 ページ参照）

教育充実協力金について

本校では、教育施設及び設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様にご寄付をお願いしております。ご寄付は任意ではありますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、協力金に関するお願いは入学後にお送りいたします。

海外帰国子女特別入学試験・外国人特別入学試験

本校では、一般入学試験と推薦入学試験のほか、海外からの帰国子女のための『海外帰国子女特別入学試験』と外国籍の方のための『外国人特別入学試験』を実施する。日程は下記の通りであるが、詳細については、入学試験係まで問い合わせること。

※日程は海外帰国子女特別入学試験、外国人特別入学試験とも共通。

※入学願書・受験票・専攻別曲目記入表は一般入学試験用を使用のこと。

■受付期間

2017年10月13日（金）～10月24日（火）（24日必着のこと）

■入学試験

2017年11月12日（日） 器楽（弦楽器・管打楽器）、音楽総合コース（弦楽器・管打楽器で受験）

2017年11月19日（日） 声楽・器楽（弦楽器・管打楽器を除く）、作曲、音楽総合コース（弦楽器・管打楽器で受験を除く）

■試験場

東京音楽大学

■合格発表

2017年11月12日（日） 器楽（弦楽器・管打楽器）、音楽総合コース（弦楽器・管打楽器で受験）

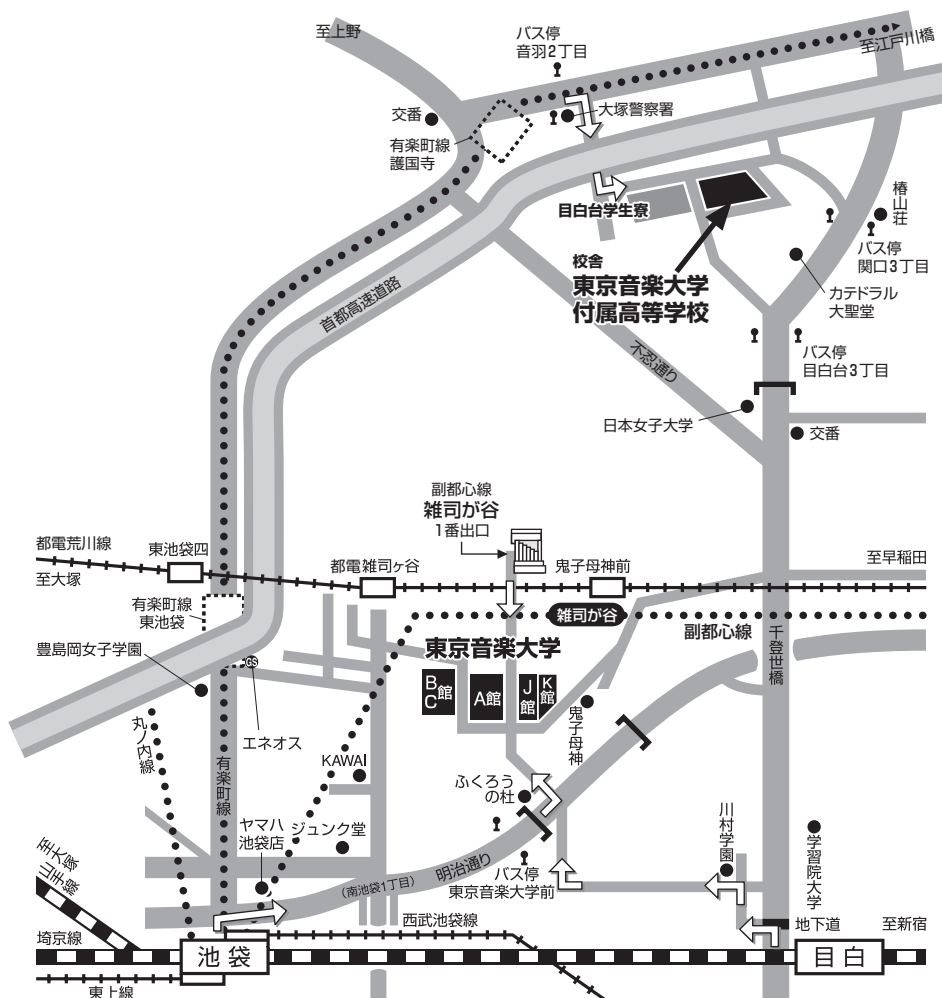
2017年11月19日（日） 声楽・器楽（弦楽器・管打楽器を除く）、作曲、音楽総合コース（弦楽器・管打楽器で受験を除く）

■問い合わせ

募集専攻、出願基準等の詳細については、下記まで問い合わせのこと。

東京音楽大学附属高等学校 入学試験係（03-3945-6214）

東京音楽大学付属高等学校・東京音楽大学 案内図



試験場

東京音楽大学
東京都豊島区南池袋 3-4-5
TEL. (03) 3982-3186 (代)

校舎

東京音楽大学付属高等学校
東京都文京区関口 3-12-1
TEL. (03) 3945-6214 ~ 5

JR = 池袋・目白駅より徒歩約 15 分
東京メトロ = 丸ノ内線・有楽町線 池袋駅東口より
徒歩約 15 分
副都心線 雑司が谷駅下車 1 番出口より
徒歩約 5 分
西武池袋線・東武東上線 = 池袋駅より徒歩約 15 分
都電 = 鬼子母神前より徒歩約 5 分
バス = 東京音楽大学前より徒歩約 3 分

池袋駅から東京メトロ 有楽町線 護国寺駅下車
講社出口より徒歩約 5 分

TCM

Tokyo College of Music High School

東京音楽大学附属高等学校

〒112-0014 東京都文京区関口 3-12-1

TEL: 03-3945-6214 FAX: 03-3945-0570

fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp

<http://www.tcm-koko.ed.jp>